

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	令和2年10月1日	終期	令和5年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	ITソリューション補助金 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、社内環境や課題解決を進めるために導入するITツール等に対する補助金						
款・項・目	商工費 工業費 工業振興費						
所属等	経済部企業誘致課			電話 025-226-1689			

年 度		令和2年度（1年目）		令和3年度（2年目）		令和4年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	60,000	国 60,000	90,000	国 90,000	86,000	国 86,000
	決算(千円)	42,379	国 42,379	83,297	国 83,297	71,661	国 84,526
補助率		2 / 3		課題解決型 1 / 2 成長事業型 2 / 3		課題解決型 1 / 2 成長事業型 2 / 3	
目 標		課題解決型 30件/年 成長事業型 5件/年 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			356.7% 100.0%	課題解決型 107件 成長事業型 5件	356.7%	課題解決型 107件
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満					20.0%	成長事業型 1件
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	R2年度については、申請件数15件を見込み、実績は19件だったことから、目標は達成できたと考えます。 (R2年度は補正予算による事業実施となったため、目標設定は行っていません。上記目標設定はR3年度に行ったため、R2年度の評価が困難であるため、前記の評価としました。)					
補助事業者による情報の公表		ホームページ又はパンフレット等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1 / 2以内か	<input checked="" type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input type="radio"/>
×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内事業者への支援制度のため、国等の制度を参考にしながら補助率を設定した。今後はこれまでの実績を分析しながら、市内事業者のニーズなども踏まえ補助率の検討を図る。				
	<g~hにおける取組>				
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 公募受付期間が短く、事業者が補助金活用を検討するのに十分な時間がなかったため。				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 新型コロナウイルス感染症が拡大している中で企業がウィズコロナへの対応をしていた制度当初からフェーズが移行している。社会経済状況の大きな変化を踏まえ、コロナ禍から脱却して企業が成長するために、デジタル技術を活用する取り組みが求められている。 上記より、コロナ禍に対応するためにITツールを導入していた現行の制度は廃止とし、デジタル技術の活用により付加価値や生産性を向上を図る新制度へ移行する。					